



令和元年 5 月 15 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 佐藤 恵治
室長補佐 佐々木 和之(内線 7473)
室長補佐 柏木 貴久子(内線 7494)
(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2321

第 8 回 21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化	3
2 子どもの生活の状況	5
(1) 携帯電話（スマートフォンを含む）	5
(2) 学校以外での 1 日の勉強時間	6
(3) 読書習慣	7
統計表	9
用語の定義	14

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス (https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 8 回調査における対象児は 8 歳（小学 2 年生）である。

3 調査の時期

平成 30 年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日である。）

4 調査事項

父母の就業状況、家族の状況、子どもの状況、学校生活・放課後のようす、家庭学習、読書習慣、子育て費用、子育てに関する意識 等

5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）において行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
減少数（率）の場合	△

- (4) 「出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。

結果の概要

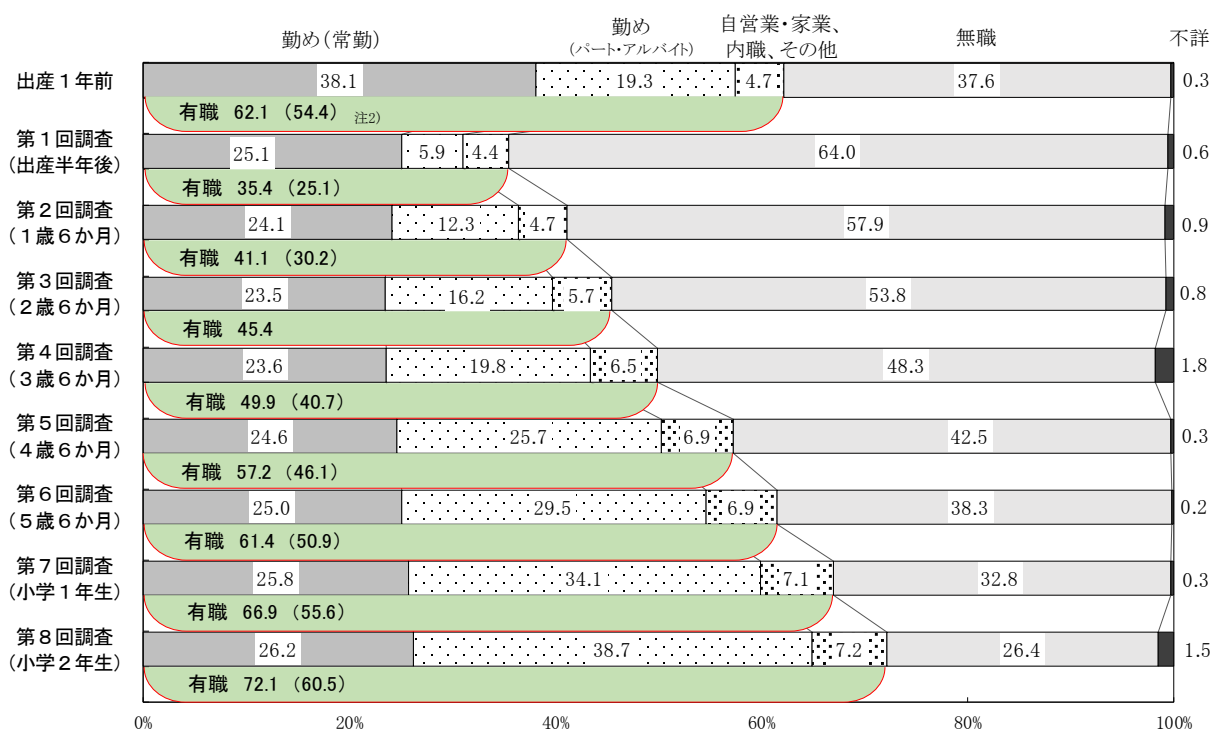
1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第8回調査(小学2年生)で72.1%となり、平成13年出生児(第8回)の60.5%に比べて11.6ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の62.1%が第1回調査(出産半年後)で35.4%に低下したが、その後は年々上昇し、第8回調査(小学2年生)では72.1%となり、平成13年出生児(第8回)の60.5%に比べて11.6ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め(常勤)」の割合は、第1回調査(25.1%)から第8回調査(26.2%)まで大きな変化はないが、「勤め(パート・アルバイト)」の割合は、第1回調査(出産半年後)の5.9%から年々上昇し、第8回調査(小学2年生)では38.7%となっている。(図1)

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



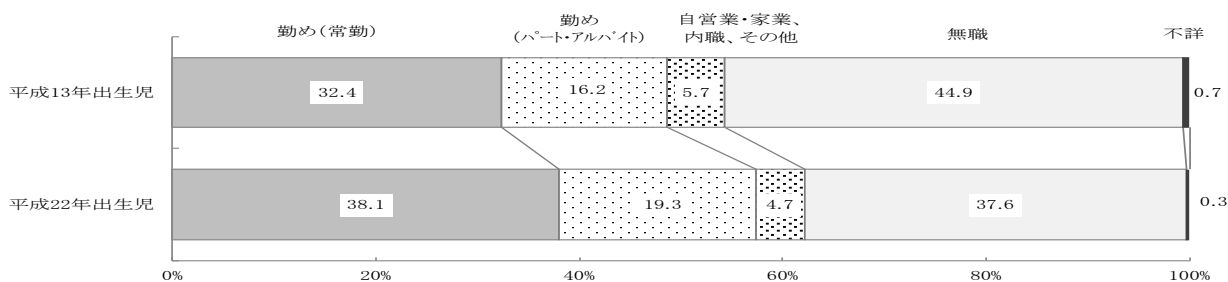
注：1) 平成22年出生児の第1回調査から第8回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数20,495)を集計。
 2) ()内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第8回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数31,920)を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第8回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では38.7%で、平成13年出生児の27.5%に比べて11.2ポイント高い

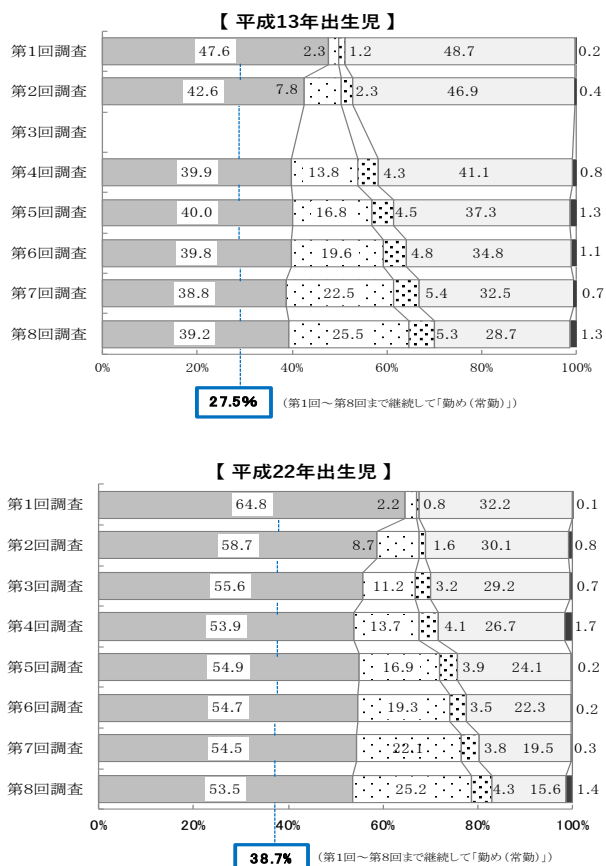
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第8回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年出生児の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年出生児よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第8回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年出生児では38.7%で、平成13年出生児の27.5%に比べて11.2ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

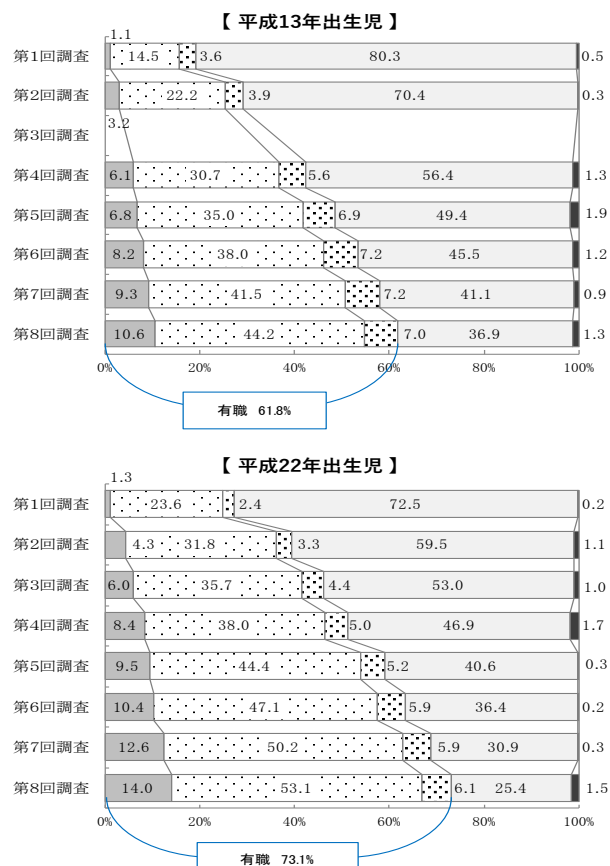
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第8回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児総数31,920、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」10,358、「勤め（パート・アルバイト）」5,170、平成22年出生児総数20,495、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」7,802、「勤め（パート・アルバイト）」3,964）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

2 子どもの生活の状況

(1) 携帯電話（スマートフォンを含む）

小学2年生に携帯電話（スマートフォンを含む）を持たせている割合は17.9%と、平成13年出生児の6.3%に比べて11.6ポイント高く、持たせた時期は、「小学1年生から」が68.8%と最も高い

平成22年出生児について、携帯電話（スマートフォンを含む）を「持たせている」割合は17.9%、「持たせていない」割合は81.9%となっている。平成13年出生児と比較すると、「持たせている」の割合が11.6ポイント高くなっている。

また、平成22年出生児について、携帯電話（スマートフォンを含む）を「持たせ始めた時期」についてみると、「小学1年生から」が68.8%と最も高く、平成13年出生児と比較しても、ほぼ同様の結果となっている。（表1）

表1 携帯電話(スマートフォンを含む)の有無・持たせ始めた時期の世代間比較

(単位: %)

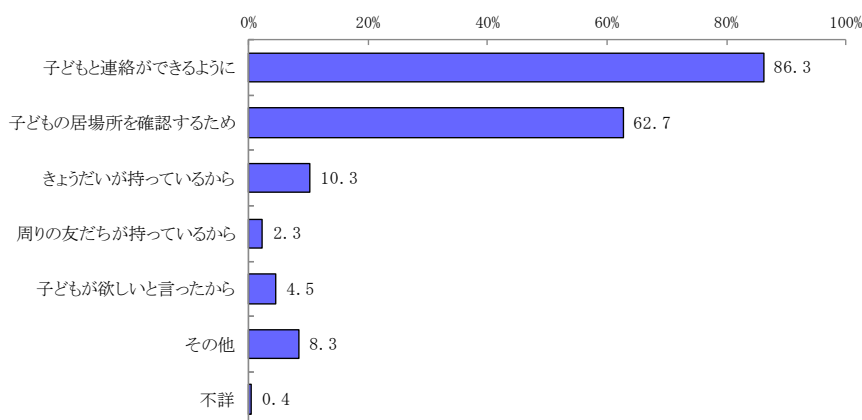
	総数	携帯電話を持たせていない	携帯電話を持たせている	持たせ始めた時期				不詳
				小学校に入学する前から	小学1年生から	小学2年生から	不詳	
平成22年出生児								
総数	100.0	81.9	17.9 (100.0)	(12.0)	(68.8)	(18.9)	(0.3)	0.2
男児	100.0	84.5	15.2 (100.0)	(11.2)	(70.2)	(18.3)	(0.3)	0.2
女児	100.0	79.1	20.7 (100.0)	(12.6)	(67.7)	(19.4)	(0.3)	0.2
平成13年出生児								
総数	100.0	93.1	6.3 (100.0)	(10.3)	(65.4)	(22.6)	(1.7)	0.6
男児	100.0	94.4	5.0 (100.0)	(10.7)	(66.0)	(21.6)	(1.7)	0.6
女児	100.0	91.6	7.7 (100.0)	(10.0)	(64.9)	(23.3)	(1.7)	0.6
世代間比較増減(ポイント) (平成22年出生児－平成13年出生児)								
総数		△ 11.2	11.6	(1.7)	(3.4)	(△ 3.7)	(△ 1.4)	△ 0.4
男児		△ 9.9	10.2	(0.5)	(4.2)	(△ 3.3)	(△ 1.4)	△ 0.4
女児		△ 12.5	13.0	(2.6)	(2.8)	(△ 3.9)	(△ 1.4)	△ 0.4

注：第8回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,136、平成22年出生児総数 24,441）を集計。

携帯電話（スマートフォンを含む）を持たせた理由（複数回答）は、「子どもと連絡ができるように」が86.3%と最も高い

携帯電話（スマートフォンを含む）を持たせた理由（複数回答）をみると、「子どもと連絡ができるように」が86.3%と最も高く、次いで「子どもの居場所を確認するため」が62.7%、「きょうだいが持っているから」が10.3%の順となっている（図3）。

図3 携帯電話(スマートフォンを含む)を持たせた理由(複数回答)



注：第8回調査の回答を得た者のうち、携帯電話(スマートフォンを含む)を持たせている者(総数 4,370)を集計。

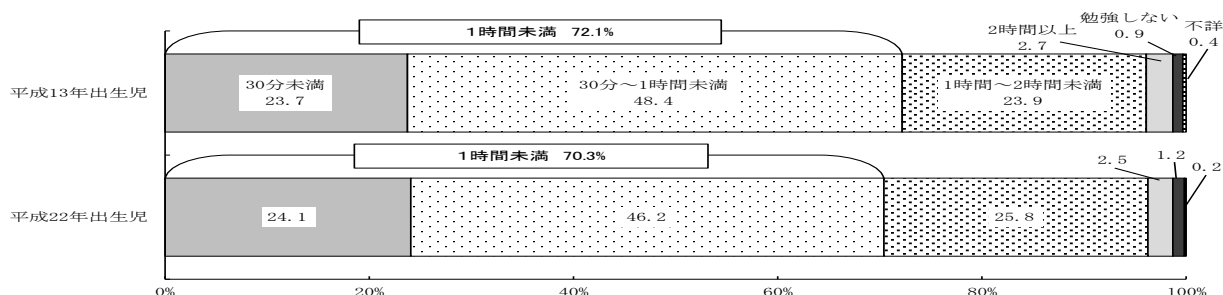
(2) 学校以外での1日の勉強時間

学校以外の勉強時間（宿題や学習塾等を含む）は1時間未満が約7割

平成22年出生児について、子どもがふだんしている学校以外での1日の勉強時間（宿題や学習塾等を含む）をみると、「30分～1時間未満」が46.2%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が25.8%、「30分未満」が24.1%の順となっている。

また、平成13年出生児と比較すると、いずれも約7割が1時間未満の勉強時間となっている。（図4）

図4 学校以外の勉強時間の世代間比較

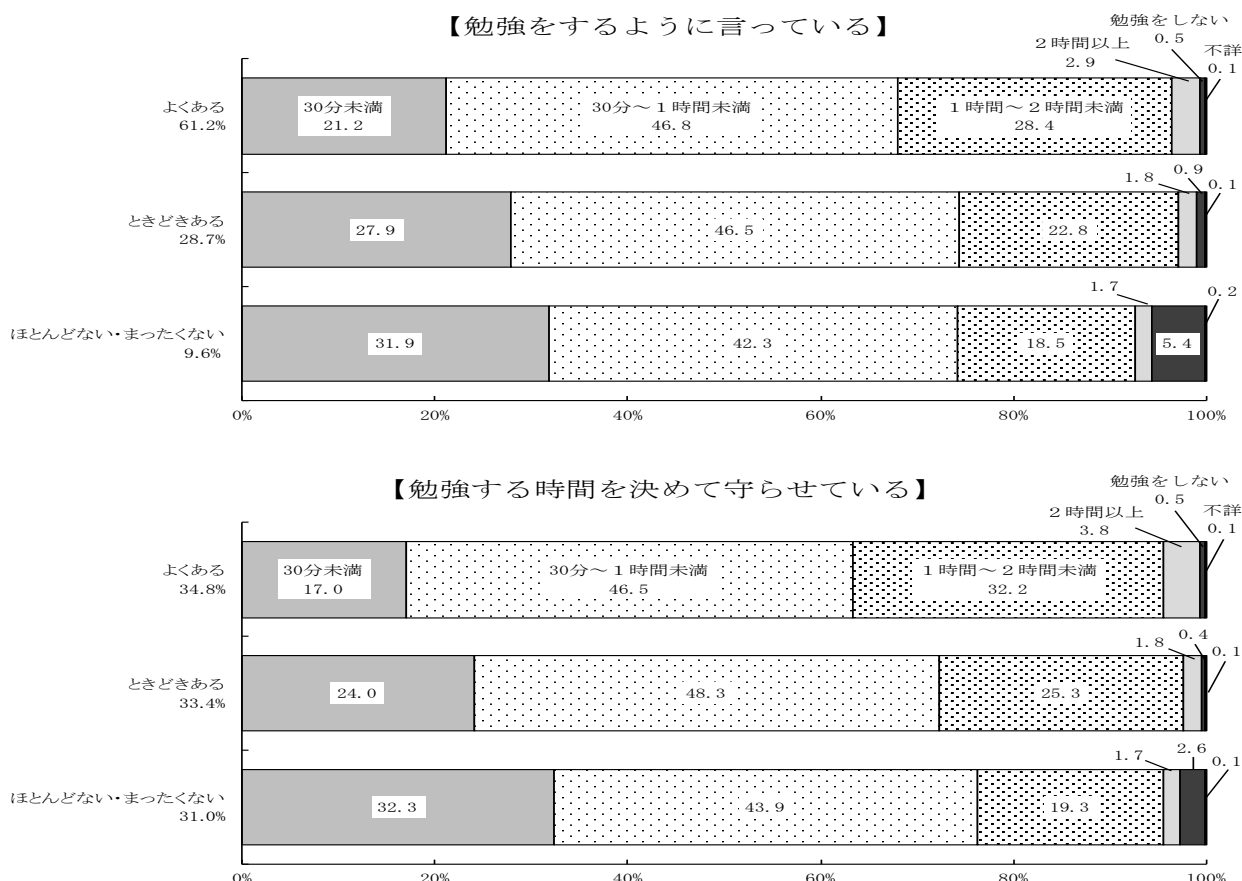


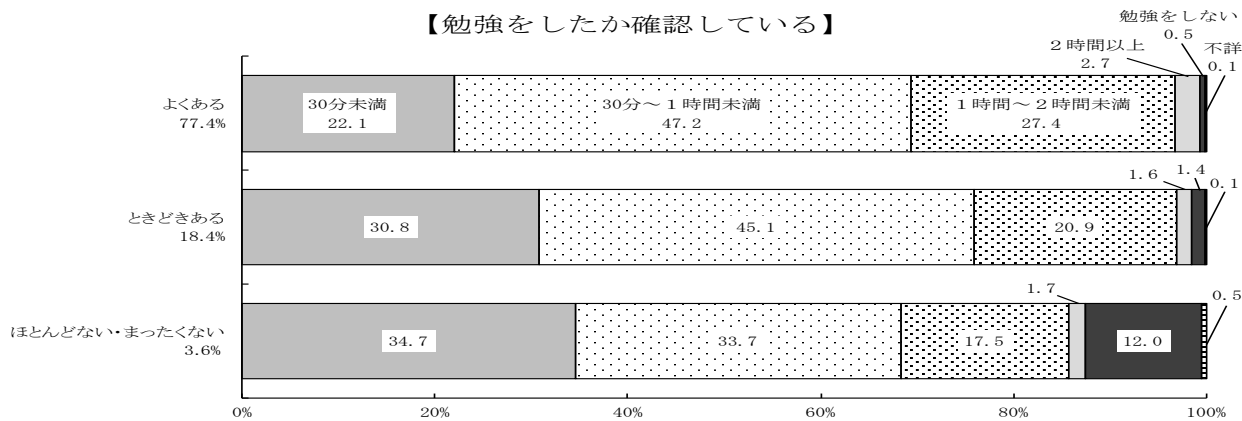
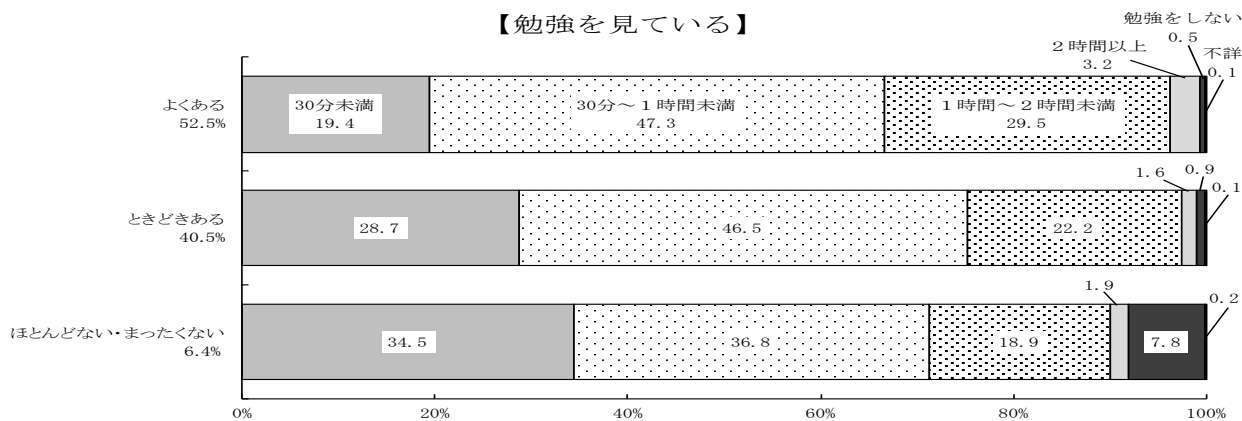
注：第8回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,136、平成22年出生児総数 24,441）を集計。

母の家庭学習への関わりが「よくある」方が学校以外の勉強時間が長い

平成22年出生児について、母の家庭学習への関わり方別に子どもがふだんしている学校以外での1日の勉強時間（宿題や学習塾等を含む）をみると、すべての関わり方で「よくある」方が勉強する時間が長くなっている（図5）。

図5 母の家庭学習への関わり方別にみた子どもの学校以外の勉強時間





注：第8回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者（平成22年出生児総数 24,322）を集計。

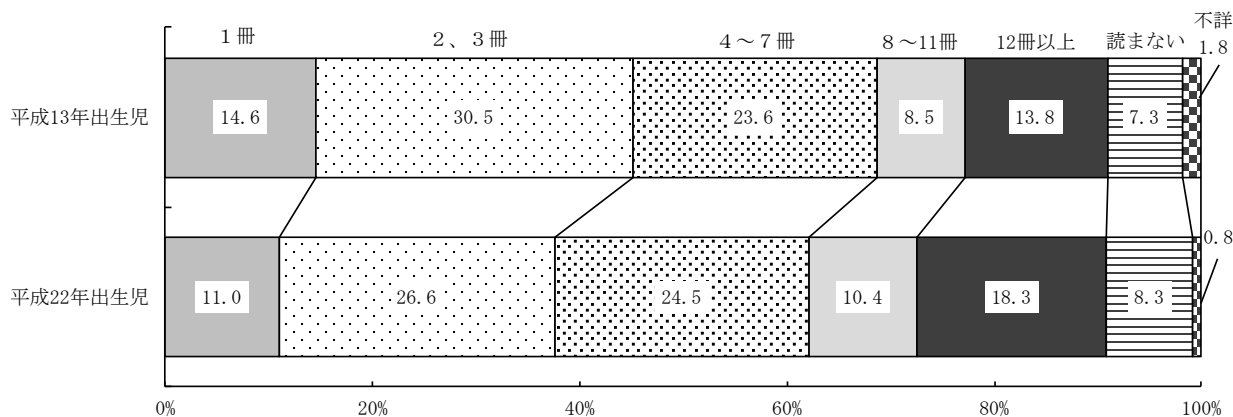
(3) 読書習慣

平成13年出生児に比べて、1か月間に4冊以上の本（児童書、絵本など）を読む割合が上昇

平成22年出生児について、1か月間に子どもの読む本（児童書、絵本など）の冊数をみると、「2、3冊」が26.6%と最も高く、次いで「4～7冊」が24.5%となっている。

また、平成13年出生児と比較すると、4冊以上読む割合は上昇し、3冊以下の割合は低下している。（図6）

図6 子どもの読書習慣の世代間比較

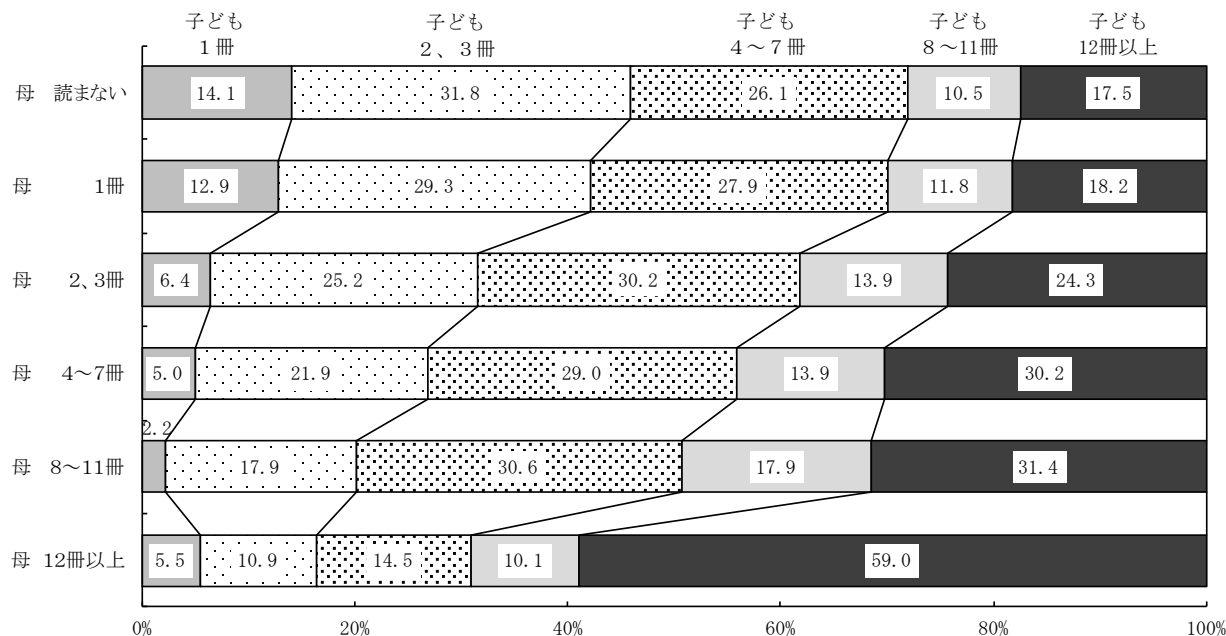


注：第8回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,136、平成22年出生児総数 24,441）を集計。

本(文庫・単行本など)を多く読む母・父の子どもは、本(児童書、絵本など)を読む冊数が多い

母・父の読書習慣ごとに、子どもの冊数(1冊以上読んでいる者)をみると、母・父ともに冊数が多くなれば、子どもの冊数も多くなる傾向となっている(図7-1)(図7-2)。

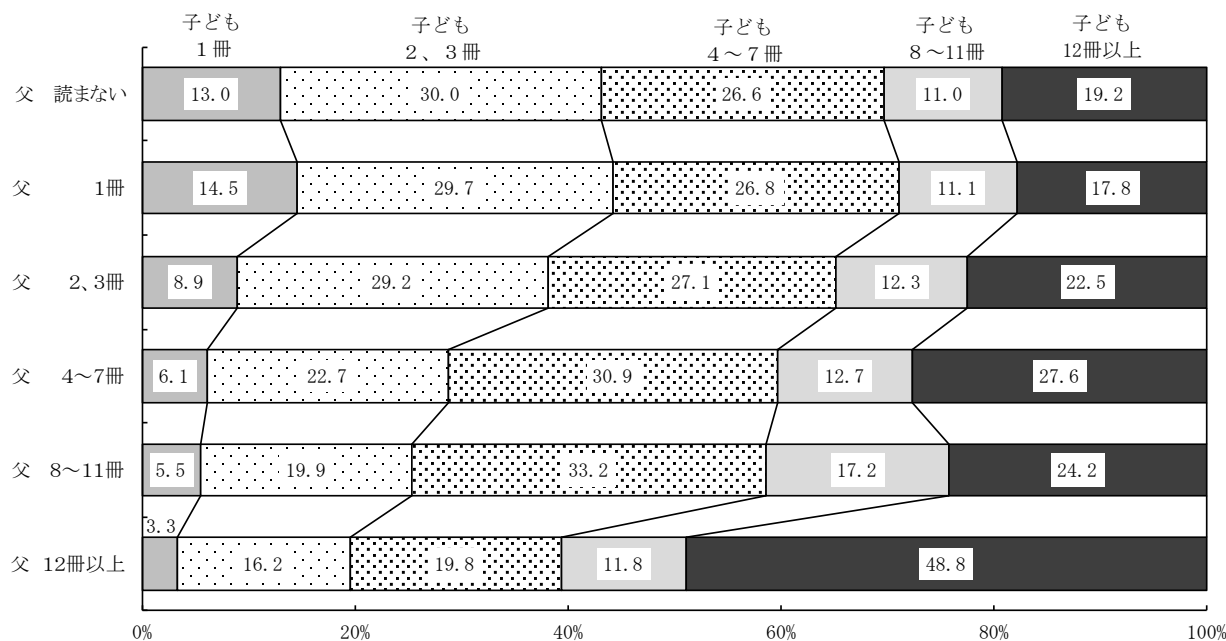
図7-1 母の1か月に読んだ本の数別にみた子どもの1か月に読んだ本の数



注:1)第8回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者(総数 24,322)を集計。

2)母の冊数毎の数値は、子どもの読む冊数の回答を得た者をそれぞれ100としている。

図7-2 父の1か月に読んだ本の数別にみた子どもの1か月に読んだ本の数



注:1)第8回調査の回答を得た者のうち、父と同居している者(総数 22,780)を集計。

2)父の冊数毎の数値は、子どもの読む冊数の回答を得た者をそれぞれ100としている。

統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

就業状況 調査回	平成22年出生児						平成13年出生児	
	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前	20 495	7 802	3 964	961	7 700	68	31 920	17 351
第1回調査(出産半年後)	20 495	5 145	1 211	900	13 114	125	31 920	8 008
第2回調査	20 495	4 948	2 520	963	11 872	192	31 920	9 645
第3回調査	20 495	4 819	3 317	1 165	11 025	169	31 920	・
第4回調査	20 495	4 827	4 059	1 341	9 903	365	31 920	12 981
第5回調査	20 495	5 036	5 272	1 419	8 715	53	31 920	14 700
第6回調査	20 495	5 120	6 048	1 421	7 859	47	31 920	16 239
第7回調査	20 495	5 281	6 984	1 446	6 728	56	31 920	17 742
第8回調査	20 495	5 375	7 927	1 478	5 409	306	31 920	19 297

注：第1回調査から第8回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第8回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
(1) 出産1年前の母の就業状況								
	平成13年出生児	31 920	10 358	5 170	1 823	14 337	232	
	平成22年出生児	20 495	7 802	3 964	961	7 700	68	
(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化								
	平成13年出生児							
	第1回調査	10 358	4 935	235	122	5 047	19	・
	第2回調査	10 358	4 410	812	236	4 854	46	・
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	10 358	4 135	1 433	449	4 256	85	・
	第5回調査	10 358	4 148	1 743	462	3 866	139	・
	第6回調査	10 358	4 120	2 028	493	3 608	109	・
	第7回調査	10 358	4 023	2 334	560	3 366	75	・
	第8回調査	10 358	4 060	2 639	548	2 974	137	2 848
	平成22年出生児							
	第1回調査	7 802	5 055	170	63	2 509	5	・
	第2回調査	7 802	4 582	682	128	2 349	61	・
	第3回調査	7 802	4 340	877	250	2 279	56	・
	第4回調査	7 802	4 207	1 065	319	2 081	130	・
	第5回調査	7 802	4 286	1 316	303	1 883	14	・
	第6回調査	7 802	4 264	1 504	275	1 741	18	・
	第7回調査	7 802	4 249	1 721	293	1 518	21	・
	第8回調査	7 802	4 171	1 963	338	1 218	112	3 017
(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化								
	平成13年出生児							
	第1回調査	5 170	58	751	184	4 153	24	
	第2回調査	5 170	167	1 147	200	3 640	16	
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	
	第4回調査	5 170	313	1 588	288	2 914	67	
	第5回調査	5 170	351	1 808	359	2 555	97	
	第6回調査	5 170	422	1 967	370	2 351	60	
	第7回調査	5 170	479	2 147	372	2 126	46	
	第8回調査	5 170	548	2 285	363	1 909	65	
	平成22年出生児							
	第1回調査	3 964	52	935	95	2 874	8	
	第2回調査	3 964	171	1 262	130	2 357	44	
	第3回調査	3 964	236	1 414	174	2 101	39	
	第4回調査	3 964	331	1 508	198	1 860	67	
	第5回調査	3 964	375	1 759	207	1 611	12	
	第6回調査	3 964	413	1 868	232	1 442	9	
	第7回調査	3 964	501	1 991	233	1 226	13	
	第8回調査	3 964	553	2 104	242	1 005	60	

注：第1回調査から第8回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
 なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 携帯電話(スマートフォンを含む)の有無・持たせ始めた時期の世代間比較 (5頁表1)

(単位:人)

	総数	携帯電話を持たせていない	携帯電話を持たせている	持たせ始めた時期				不詳
				小学校に入学する前から	小学1年生から	小学2年生から	不詳	
平成13年出生児								
総数	36 136	33 632	2 285	235	1 494	517	39	219
男児	18 783	17 729	947	101	625	205	16	107
女児	17 353	15 903	1 338	134	869	312	23	112
平成22年出生児								
総数	24 441	20 020	4 370	525	3 005	827	13	51
男児	12 582	10 637	1 915	215	1 344	350	6	30
女児	11 859	9 383	2 455	310	1 661	477	7	21

注：第8回調査の回答を得た者を集計。

統計表4 携帯電話(スマートフォンを含む)を持たせた理由(複数回答)(5頁図3)

(単位:人)

携帯電話(スマートフォンを含む)を持たせた理由(複数回答)	総数	男児	女児
総数	24 441	12 582	11 859
携帯電話を持たせている	4 370	1 915	2 455
子どもと連絡ができるように	3 770	1 656	2 114
子どもの居場所を確認するため	2 742	1 217	1 525
きょうだいを持っているから	451	199	252
周りの友だちを持っているから	100	32	68
子どもが欲しいと言ったから	196	55	141
その他	364	159	205
不詳	17	11	6
携帯電話を持たせていない	20 020	10 637	9 383
不詳	51	30	21

注：第8回調査の回答を得た者を集計。

統計表5 学校以外の勉強時間の世代間比較（6頁図4）

（単位：人）

	総数	学校以外で勉強をする	学校以外で勉強をする時間				学校以外で勉強をしない	不詳	
			30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2時間以上			
			平成13年出生児	総数	36 136	35 674			8 563
	男児	18 783	18 500	4 861	9 012	4 173	454	214	69
	女児	17 353	17 174	3 702	8 478	4 477	517	115	64
平成22年出生児	総数	24 441	24 108	5 897	11 291	6 315	605	282	51
	男児	12 582	12 388	3 232	5 821	3 044	291	171	23
	女児	11 859	11 720	2 665	5 470	3 271	314	111	28

注：第8回調査の回答を得た者を集計。

統計表6 母の家庭学習への関わり方別にみた子どもの学校以外の勉強時間（6頁図5）

（単位：人）

	総数	学校以外で勉強をする	学校以外で勉強をする時間				学校以外で勉強をしない	不詳
			30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2時間以上		
			総数	24 322	23 992	5 871		
勉強をするように言っている								
よくある	14 879	14 784	3 155	6 962	4 231	436	81	14
ときどきある	6 972	6 900	1 943	3 242	1 589	126	65	7
ほとんどない・まったくない	2 336	2 207	745	989	433	40	125	4
不詳	135	101	28	43	29	1	8	26
勉強する時間を決めて守らせている								
よくある	8 476	8 432	1 438	3 940	2 731	323	39	5
ときどきある	8 117	8 074	1 951	3 922	2 055	146	32	11
ほとんどない・まったくない	7 543	7 338	2 439	3 312	1 458	129	197	8
不詳	186	148	43	62	38	5	11	27
勉強を見ている								
よくある	12 781	12 707	2 480	6 045	3 771	411	63	11
ときどきある	9 850	9 752	2 826	4 581	2 187	158	88	10
ほとんどない・まったくない	1 547	1 424	533	569	293	29	120	3
不詳	144	109	32	41	31	5	8	27
勉強をしたか確認している								
よくある	18 832	18 717	4 157	8 884	5 165	511	100	15
ときどきある	4 480	4 411	1 381	2 020	938	72	64	5
ほとんどない・まったくない	882	772	306	297	154	15	106	4
不詳	128	92	27	35	25	5	9	27

注：第8回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者を集計。

統計表7 子どもの読書習慣の世代間比較（7頁図6）

（単位：人）

	本（児童書、絵本など）								
	総数	読む						読まない	不詳
			1冊	2、3冊	4～7冊	8～11冊	12冊以上		
平成13年出生児 総数	36 136	32 854	5 263	11 006	8 524	3 070	4 991	2 627	655
平成22年出生児 総数	24 441	22 201	2 683	6 510	5 989	2 538	4 481	2 035	205
男児	12 582	11 033	1 611	3 496	2 894	1 133	1 899	1 434	115
女児	11 859	11 168	1 072	3 014	3 095	1 405	2 582	601	90

注：1) 第8回調査の回答を得た者を集計。

2) 平成13年出生児の男女別は算出していません。

統計表8 母の1か月に読んだ本の数別にみた子どもの1か月に読んだ本の数（8頁図7-1）

（単位：人）

母の1か月に 読んだ本（文庫・ 単行本など）の数	子どもの1か月に読んだ本（児童書、絵本など）の数								
	総数	読む						読まない	不詳
			1冊	2、3冊	4～7冊	8～11冊	12冊以上		
総数	24 322	22 108	2 661	6 477	5 974	2 527	4 469	2 011	203
読まない	13 844	12 150	1 717	3 865	3 171	1 270	2 127	1 607	87
1冊	4 927	4 669	602	1 367	1 301	551	848	229	29
2、3冊	3 386	3 257	209	822	984	452	790	106	23
4～7冊	1 044	1 009	50	221	293	140	305	29	6
8～11冊	236	229	5	41	70	41	72	7	-
12冊以上	489	476	26	52	69	48	281	13	-
不詳	396	318	52	109	86	25	46	20	58

注：第8回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者を集計。

統計表9 父の1か月に読んだ本の数別にみた子どもの1か月に読んだ本の数（8頁図7-2）

（単位：人）

父の1か月に 読んだ本（文庫・ 単行本など）の数	子どもの1か月に読んだ本（児童書、絵本など）の数								
	総数	読む						読まない	不詳
			1冊	2、3冊	4～7冊	8～11冊	12冊以上		
総数	22 780	20 724	2 483	6 036	5 591	2 364	4 250	1 863	193
読まない	13 629	12 163	1 586	3 652	3 241	1 344	2 340	1 388	78
1冊	3 565	3 301	479	980	886	367	589	240	24
2、3冊	3 175	3 028	271	883	822	372	680	130	17
4～7冊	1 114	1 062	65	241	328	135	293	42	10
8～11冊	268	256	14	51	85	44	62	11	1
12冊以上	406	389	13	63	77	46	190	16	1
不詳	623	525	55	166	152	56	96	36	62

注：第8回調査の回答を得た者のうち、父と同居している者を集計。

用語の定義

(1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者。
- ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。
ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。